

社協 なると

社会福祉協議会広報誌 第3号

発行／社会福祉法人 鳴門市社会福祉協議会
〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜30番地の9
老人福祉センター2F
TEL:088-685-7170 FAX:088-686-4059



東部ブロック合同模擬訓練 土のう講習
平成26年6月28日



職員参集訓練
平成26年6月28日 6時30分実施



東部ブロック合同模擬訓練 ハイゼックス料理の出来上がり
平成26年6月28日



東部ブロック合同模擬訓練 ボランティア受付班
平成26年6月28日

主な内容

- ▶社会福祉協議会のこれからについて···
鳴門市社会福祉協議会会长 多智花 亨 ②
- ▶鳴門市社協災害発生時職員参集訓練、東部ブロック合同模擬訓練···
②
- ▶平成25年度事業報告及び収支決算報告 ···
③
- ▶平成26年度事業計画及び収支予算 ···
④
- ▶鳴門市民生委員児童委員協議会、鳴門市老人クラブ連合会総会 ···
⑤
- ▶鳴門市シルバー大学校入学式 ···
⑤
- ▶地区社会福祉協議会活動紹介 ···
⑥
- 斋田地区社会福祉協議会、桑島地区社会福祉協議会
- ▶共同募金配分報告、介護事業紹介 ···
⑦
- ▶社会福祉協議会からのお知らせ ···
⑧

社会福祉協議会のこれからについて

会長 多智花 亨

盛夏の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本会事業に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省の予測によりますと、平成37年には65歳以上の高齢者が3657万人に達するとのことで(2025年問題)、これまで経験のない超高齢社会を迎える。また、孤立や孤独死、虐待問題等の生活課題も広がっていく傾向にあります。さらに、来年4月には「生活困窮者自立支援法」が施行されます。あらためて今後社会福祉協議会に求められるものは何かを考えた時、社会福祉協議会がこれまで蓄積してきた人材やネットワークによる地域福祉の推進に尽きるのではないかと思われます。

社会福祉協議会は地域の基幹的な社会資源として位置づけられています。この使命のもと、地域の人たちと向き合い、地域のさらなる変化や課題、さらには、潜在化しているニーズをきめこまやかに把握し、市民や鳴門市と協働して、『健康で安心して暮らせる福祉のまち「鳴門」づくり』に向け、市民主体の社会福祉協議会の確立に努めてまいりたいと思います。市民の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

社協の総合相談支援対応力向上事業 「東部ブロック合同模擬訓練」実施

鳴門市社協では、平成24年より県下東部ブロック社協の一員として、災害発生時の模擬訓練に参加してまいりました。毎年、訓練に先立ち、鳴門市社協内のマニュアルに沿った職員参集訓練を実施、発災時の支援活動が迅速に展開できるよう職員間の意思統一を図ってきました。

今年の訓練は、平成26年6月28日(土)に藍住町福祉センター及び周辺の公共施設を使って行われました。訓練の運営については、板野郡の5町社協(松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町社協)が幹事町社協として、訓練計画を策定してくれました。訓練には東部ブロックの社協職員をはじめ徳島県社会福祉協議会、藍住町危機管理室など約150名が参加、午前9時からオリエンテーションを行い、『特定非営利活動法人さくらネット』代表理事の石井布紀子先生による講義を皮切りに、訓練がスタートしました。内容は、国土交通省・板野東部消防組合消防本部による「土のう作り講習」「災害ボランティアセンター運営訓練」をはじめ「iPad講習」や災害時に威力を發揮する「ハイゼックス調理」等非常に密度の濃い訓練となりました。参加した職員は、今後の災害ボランティアのスキルアップや職員の災害対応力を向上できることを実感していました。

災害ボランティア入門講座を開催

平成26年3月18日(火)、3月29日(土)の両日にわたり、「災害ボランティア入門講座」を社会福祉協議会会議室で開催しました。

2回の講座で延べ29名の方に

ご参加いただきました。第一日

目は鳴門市危機管理局、徳島県社会福祉協議会の方より、「鳴門市の防災」や



鳴門市の危機管理体制について(市危機管理局)

「災害ボランティアセンター」について講義をしていただきました。第二日目は『特定非営利活動法人NPO高知市民会議』理事で内閣府防災ボランティア活動検討会のメンバーである山崎水紀夫先生より「災害ボランティアの心構え」「災害ボランティアセンターについて」と題した講義、さらに、災害対応シミュレーションゲーム「クロスロード」を体験しながら災害ボランティアについて学んでいたいただきました。講義終了時には、受講者の皆さんが災害ボランティア活動に積極的に取り組んでいただけることを願い二日間にわたる講座を終了しました。

平成25年度事業報告

5月27日(火)、市老人福祉センター2階(市社協)会議室において理事会が、市勤労青少年ホーム2階軽運動室において評議員会が開催され、平成25年度の事業報告と決算が承認されました。

重点的な取り組み

- ① 社協の災害時対応力向上事業・・・災害時職員収集訓練及び県・市町村社協合同模擬訓練参加。一時的福祉避難所の設置・運営訓練。ボランティア入門講座を開催するとともに、京都府福知山市(水害)に災害ボランティアとして職員を派遣。
- ② 地域福祉活動の推進・・・13地区社会福祉協議会の強化推進を図り、広報誌「社協なると」創刊号を発刊。地区社協等の活動中心に連載し、今後も年3回発行予定。
- ③ 鳴門市社会福祉協議会介護保険事業検討委員会の開催・報告・・・社協における介護(在宅福祉)サービス部門の課題と方向性。基幹型地域包括支援センターの設置に向けた具体的な取り組み。
- ④ 職員の資質向上・・・県社協職場内研修モデル事業助成金を受け全7回職員研修を開催。

事業項目

1. 法人運営事業

役員会の開催、職員研修会の開催、各会議出席、社協の災害時対応力向上事業など

2. 地域福祉推進事業

地区社会福祉協議会、社会福祉団体の育成、民生委員活動事業、寿賀(100歳)、福祉協力校指定事業、給食サービス事業、知的障害児(者)体験学習会、リフト付きワゴン車管理運営事業、法律相談、市社協グラウンド・ゴルフ大会開催など

3. 広報啓発事業

市社会福祉大会の開催、県社会福祉大会に参加、広報誌「社協なると」の発刊、ホームページの作成

4. ボランティアセンター事業

ボランティアセンター預託・払出し、車いす貸出、車いす講習、市民活動支援センター事業など

5. 共同募金配分金事業

可能世帯調査、街頭募金の実施など

6. 居宅介護等事業

訪問介護事業、居宅介護支援事業など

7. 福祉サービス利用援助事業

(日常生活自立支援事業)

相談受付～契約事務、契約者への実際の援助など

8. 生活福祉資金貸付事業

9. 心配ごと相談事業

10. 県シルバー大学校鳴門校管理運営事業

ICT・食品加工・中国語コース

11. シルバー事業

趣味の教室、市うずしお運動会など

12. 福祉金庫貸付事業

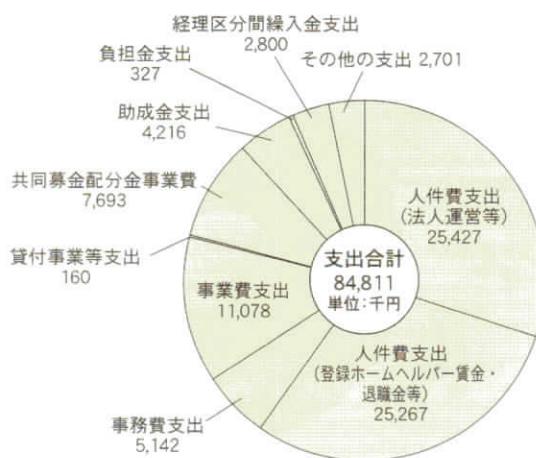
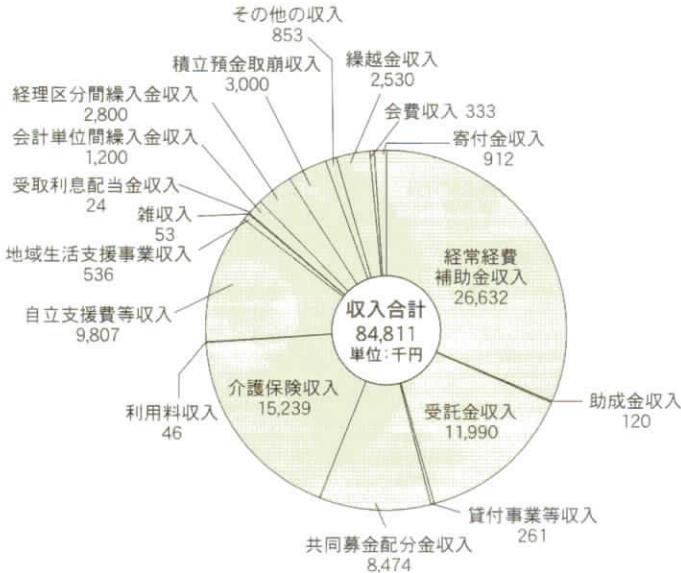
13. 収益事業

物品販売、自動販売機設置

14. 各団体事務局設置活動

市地区社会福祉協議会会长会、市老人クラブ連合会、市民生委員児童委員協議会、市ボランティア連絡協議会など

平成25年度収支決算



平成26年度事業計画

3月25日(火)、市老人福祉センター2階(市社協)会議室において理事会が、市勤労青少年ホーム2階軽運動室において評議員会が開催され、平成26年度事業計画及び予算が決定しました。

基本
方針

住民参加の福祉のまちづくりを推進する ～健康で安心して暮らせる福祉のまち「鳴門」づくり～

鳴門市社会福祉協議会は、今後も引き続き市民主体の活動原則を忘れず、地域福祉の推進をはかり、地域社会に貢献すること、社協が地域住民に信頼され必要とされることが、社協の使命であることを再認識し、市民や鳴門市と協働による、『健康で安心して暮らせる福祉のまち「鳴門」づくり』に向け、市民主体の社会福祉協議会の確立に努めます。

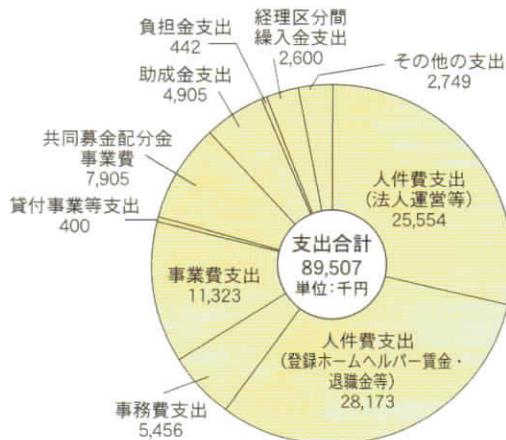
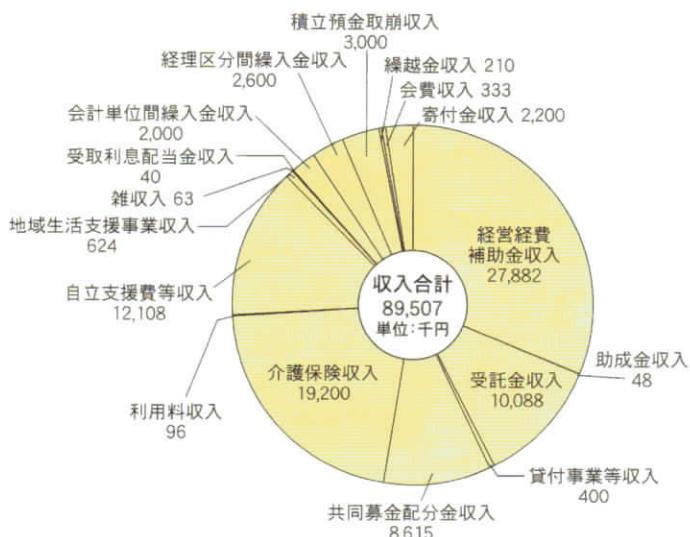
事業項目

- ① 法人運営事業
- ② 地域福祉推進事業
- ③ 広報啓発事業
- ④ ボランティアセンター事業
- ⑤ 共同募金配分金事業
- ⑥ 居宅介護等事業
- ⑦ 福祉サービス利用援助事業
- ⑧ 生活福祉資金貸付事業
- ⑨ 心配ごと相談事業
- ⑩ 県シルバー大学校鳴門校管理運営事業
- ⑪ シルバー事業
- ⑫ 福祉金庫貸付事業
- ⑬ 収益事業
- ⑭ 団体等の活動支援・事業協力

重点的な取り組み

- 1) 「鳴門市社会福祉協議会のあり方検討委員会」の政策提言を踏まえ、13地区社会福祉協議会や社会福祉施設、各種福祉関係団体、ボランティア・NPO法人等との協働関係を重視した取り組みを推進。
 - ① 地区社会福祉協議会活動の推進
 - ・小地域活動の推進として、地域福祉コーディネーターを配置し、ソーシャルサポートネットワークを推進。
 - ・社会福祉協議会広報等の充実。
 - ② ボランティア活動・社協の総合相談支援対応力向上事業の推進
 - ・災害ボランティアセンター設置・運営・支援体制の確立
 - ・災害訓練実施
 - ・災害ボランティア（入門・コーディネーター養成）講座
 - ③ 社会福祉法人新会計基準への移行に向けた取り組み（平成27年度移行）
 - ④ 職員の資質向上（職員の更なるレベルアップ）
- 2) 居宅介護等事業（介護保険事業・障害福祉サービス等）の推進
 - ① 基幹型地域包括支援センターの設置に向け検討（市社協介護保険事業等検討委員会の報告による）
 - ② 個別ニーズに対応した在宅サービスの推進

平成26年度収支予算



民生委員兒童委員協議会総会開催

平成26年5月19日（月）、鳴門市老人福祉センタ
ーにおいて、



拵機する松本夕和子会長

門市議会議長・宮崎光明様はじめご来賓の方々よりご祝辞をいただきました。

この後、平成25年度事業報告・決算報告・監査報告及び平成26年度事業計画(案)・予算(案)について審議が行われ、出席した民生委員・児童委員の承認が得られました。議事終了後には、鳴門市社会福祉課 吉井課長、同子どもいきいき課 笠原課長より「福祉臨時給付金」「子育て世帯臨時特例給付金」についての研修が行われました。

老人クラブ連合会総会開催

平成26年5月20日（火）、「創造と連帯の輪を広げて」をスローガンに195名の出席のもと、第58回鳴門市老人クラブ連合会総会が開催されました。総会に先立ち式典が行われ、30名の会員が老



《創造と連帯の輪を広げて》
第58回鳴門市市老人クラブ連合会総会

成26年度事業
計画・予算
案について
審議が行わ
れ、出席し
た会員の承
認が得られ
ました。

人クラブ活動功労賞を受賞され、山内節会長より表彰状と記念品が手渡されました。この後山内節会長の挨拶に続き、鳴門市長泉理彦様、鳴門市議会議長宮崎光明様はじめご来賓の方々よりご祝辞をいただきました。式典終了後総会に移り、

議長宮崎光明様からは、「体に気をつけて、学んだことを地域や家庭で生かしてほしい」とのご祝辞をいただきました。

入学式終了後早速、泉学校長の第1回講義が行われました。

鳴門市シルバー大学校開校

平成26年6月17日（火）、鳴門市シルバー大学
校の入学式が行われ、90名の学生が入学しました。
式では学校長の泉理彦市長より、「全10回の
講義と一緒に学び、鳴門市のことを探つてもらえ
たらありがたい。皆勤賞をめざして頑張ってほし



《平成26年度市政運営の方針
～未来につながる4つのまちづくり～》
を講義する泉理彦校長

地区社協活動紹介 斎田地区社会福祉協議会

斎田地区社会福祉協議会会长 村澤 久豊



斎田地区社会福祉協議会は、斎田地区住民の皆さんで地域社会福祉活動を促進し、住民の福祉増進を図る目的で、昭和48年6月に創立され、昨年創立40周年を迎えました。今年2月23日には記念式典が挙行され、多くの来賓の方々のご参席をいただきました。そして泉理彦市長様を始め、宮崎光明市議会議長様、県議会議員の川端正義様、黒崎章様、岡田理絵様、鳴門市社会福祉協議会会长の多智花亭様からご祝辞を頂き、盛大に祝うことができました。

今年の行事としては、7月20日に岩崎神社の夏祭り協賛の納涼の夕べが斎田集会所であります。毎年カラオケ、民謡が盛大に行われ大変好評をいただいております。例年10月には「花のまち斎田」が主催するコスモス祭りが盛大に実施されます。この祭りは、地域の業者の方から後援をいただき、接待所を汽車公園で開設、地域外からの参加も多数あり、芋棒や綿飴の接待や抽選会があり毎年楽しみにされている方も多く、今後も継続して実施していきたいと思っております。この「花のまち斎田」は、今年5月24日の「みどりの愛護」のつどいの日に、永年の緑化美化活動に対して知事表彰をいただきました。



創立40周年記念式典

また、同じ10月には斎田地区敬老会が斎田集会所で実施され、「鳩寿・傘寿」の方に寿詞状が贈呈されます。その後で、正興寺保育園園児の演技、撫養小学校児童の敬老作文の発表や演技があり、皆様に喜んでいただいている。これはもう36年続いている、当協議会の最大の行事となっています。

地区社協活動紹介 桑島地区社会福祉協議会

桑島地区社会福祉協議会会长 加川 洋征

桑島地区ではいろいろな活動をしていますが、どの活動も社会福祉協議会単独ではなく、自治振興会や自主防災会また人推協等と共同で実施しています。例えば、敬老会・共同墓地の清掃・EM活性液の培養と活用・花火大会・防災訓練・三世代グラウンドゴルフ大会・人権に関する講演会等々があります。その中から二つ紹介します。

一つは「敬老会」です。毎年11月3日、76歳以上の高齢者を対象に開催しています。当日は、対象者約400人中100人程度が参加、来賓として市長・県議会議員・地元市議会議員さんを迎えて、婦人会の協力を得て、心づくしの昼食やカラオケ・日舞・詩吟・フラダンス等の演芸で楽しめます。最近出席人数が増加の傾向にあり会場の関係から対象年齢を引き上げねばならない状況にあります。二つ目は「EM菌の培養と活用」を昨年から始めました。EM菌の培養については、桑島小学校と地域が協力して行っています。活用については、会員がトイレ・側溝・どぶ等に流して、悪臭を防止したり、児童を通じ家庭に持ち帰らせ保護者と一緒に使用をさせたりして、環境への关心を高めようとしています。



敬老会での余興



花火大会時の夜店

今後は、無理のない魅力ある活動で、高齢化による会員減少の課題を克服し、会員相互の連携により、より明るく住みよい地域作りを推進していきたいと考えています。

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました

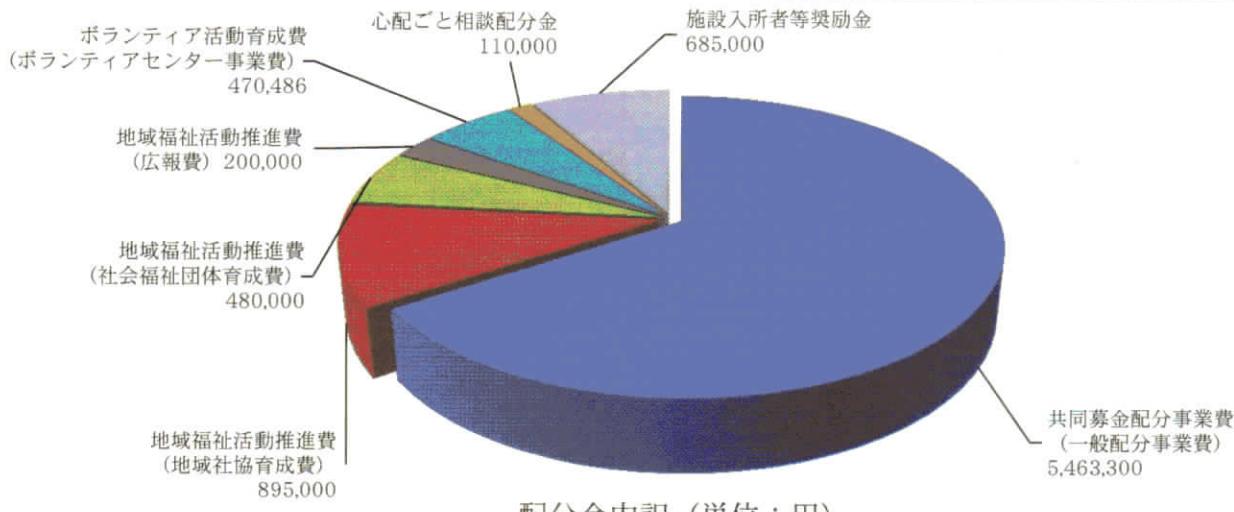


平成25年度共同募金運動につきましては、多くの皆様のご支援、並びに関係各位のご協力をいただきありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

今後とも共同募金運動にご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。なお、ご協力いただいた募金はすべて徳島県共同募金会に送金され、あらためて鳴門市社会福祉協議会の福祉活動事業に配分されました。「実績額、配分金、配分金の内訳」は下記のとおりとなっております。

実績額:11,995,451円 配分金:8,303,786円

共同募金は、わたしたちの街で役立てられる募金です



鳴門市社協のホームヘルパー・ケアマネージャーをご利用ください ヘルパーのことなら何でもご相談ください

高齢者の方、障がいのある方で住み慣れた自宅で安心して暮らせるようお手伝いさせていただきます。

サービス内容

身体介護……入浴介助、食事介助等

生活援助……買い物、洗濯、調理、掃除等

移動支援……一緒に買い物等

同行援護……スポーツ観戦、映画鑑賞、買い物等

鳴門市社会福祉協議会 訪問介護サービス事業所・障がい福祉サービス事業所

〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜30-9 老人福祉センター 2F

TEL: 686-4073 (直通) FAX: 686-4059

お問い合わせは、平日午前8時30分～午後5時

- ◆ホームヘルパー隨時募集しています。子育て中の方・子育てがひと段落した方
- ◆訪問先は、鳴門市内限定です。あなたの空いている時間を有効に使いませんか？
- ◆社協職員は、災害時に市民のお役に立てるよう研修に参加しています。

鳴門市心配ごと相談所

- 相談日時:毎週金曜日 9時30分~15時
- 相談場所:鳴門市老人福祉センター1階相談室
- 相談員:中川 正幸、松本 久和子、福居 士郎、川口 正雄、篠原 和夫、永井 多美子
- 財産・家族・離婚問題など、あらゆる心配ごと・悩みごとの相談に応じています。費用は無料です。お電話でのご相談も受け付けておりますので、ご利用下さい。

★秘密は厳守します!

※お問い合わせ
鳴門市社会福祉協議会 ☎ 685-7170

| | | | | | | | | |
|--------------|---------------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------|---------------|----------------|----------------|---------------|
| お問い合わせは事務局まで | 10月 22日 水 | 9月 26日 金 | 9月 19日 月 | 9月 15日 月 | 7月 8日 火 | 7月 22日 火 | 7月 15日 火 | 7月 2日 水 |
| | 社会福祉協議会は鳴門市老人クラブ連合会の事務局をお | いています。鳴門市老人クラブ連合会では、健康・友愛・ | 奉仕の3大運動を基本としてさまざまな地域活動を開 | いています。7月からの行事は次の通りです。 | | | | |
| | うすしお運動会 | 市老連GG大会 | 社会奉仕の日 | 「敬老の日」のつどい | 女性委員研修会 | 講演会第2回 | 講演会第1回 | |
| | 685-7170 | | | | | | | |

鳴門市老人クラブ連合会からのお知らせ

無料法律相談

- 相談日時:毎月第二水曜日 13時~15時
 - 相談場所:鳴門市老人福祉センター1階相談室
 - 弁護士:うずしお法律事務所 瀧 誠司弁護士
- ★秘密は厳守します!**

鳴門市心配ごと相談所に来所された方で、法律相談を希望された方が対象です。(予約制)

※お問い合わせ
鳴門市社会福祉協議会 ☎ 685-7170

教育支援資金貸付(生活福祉資金貸付制度)

所得の少ない世帯の学生で、次の要件に該当する方に教育支援費と就学支度費をお貸しします。入学前でも予約申し込みできます。

- 日本学生支援機構・国の教育ローンなどの借り入れが困難な方
- 徳島県社会福祉協議会の審査により返済見込みがあると判断された方

[対象]高等学校、高等専門学校、短期大学、大学に在学中または進学予定の方

[利子]無利子 [貸付限度額]下表のとおり

[据置期間]卒業後6ヶ月以内 [連帯借受人]1人

[償還期間]20年以内

[申込み・問い合わせ]福祉資金担当 ☎ 685-7170

教育支援資金限度額

| | 高等学校 | 高 専 | 短期大学 | 大 学 |
|-------|---------|--------------------|---------|---------|
| 教育支援費 | 35,000円 | 60,000円 | 60,000円 | 65,000円 |
| 就学支度費 | | 500,000円 (入学時のみ対象) | | |

※教育支援費については、月額となっております。

善意銀行にご協力をお願いします

皆様の温かい善意が、福祉のまちづくりに活かされています。

平成26年2月1日から6月30日までに、次の方々よりご寄付をいただきました。

[一般預託]

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| ◆日本モーターボート選手会徳島支部 様 (撫養町) | ◆小川 智代子 様 (撫養町) |
| ◆県シルバー大学校鳴門校14期生OB会 様 (撫養町) | ◆田渕 政男 様 (大津町) |
| ◆なるとD eシネマ実行委員会 様 (撫養町) | ◆松井 宣子 様 (東かがわ市) |

ご協力ありがとうございました。ご寄付は有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

[活用状況]

平成25年度に寄せられた善意は、次のように活用させていただきました。

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| ◆要保護・準要保護世帯への、小・中学校修学旅行小遣い補助 | ◆小規模災害見舞金 |
| ◆障がい者スポーツレクリエーション大会開催協力 | ◆障がい者施設でのフェスティバル等開催への補助 |